

きらきらひかる 中和っこ



ご卒業 おめでとうございます

菜の花のやわらかな黄色が日だまりに揺れて、春の訪れを教えています。
本日、小学校の全課程を修了し、卒業される17名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからのみなさんの人生に幸多いことを願います。
本当は修了式でする予定だった話を、みなさんが手にする中和小学校最後の学校便りに書かせていただきました。保護者の皆様も、よろしくお付き合い願います。

卒業生に贈るエピソード：「風をつかまえた少年」 ～何のために学ぶのか～

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
中和小のすばらしいリーダーとして活躍し、新しい伝統を築いてくれた皆さんの今日までの活躍に心から感謝と敬意を表します。本当にありがとうございました。
中学校へ羽ばたく皆さんに、本当にあった話、ノン・フィクションといいますが、「風をつかまえた少年」のエピソードを紹介します。
人が学ぶことの意味や素晴らしさを改めて教えてくれる話です。元の本は480ページの大冊ですが、さらに中学校で学習を積み、機会があったら、ぜひ読んでいただきたい一冊です。



絵本 風をつかまえたウィリアム

風をつかまえた少年の話

アフリカのマラウイ共和国にカムクワンバという十四歳の少年がいました。この国は貧しい国で電力普及率が2%しかありません。森林を切り倒して燃料にしていたのですが、木を切り尽くし、砂漠化と洪水が貧しい暮らしに追い打ちをかけました。少年の村も高価な電気は引くことができず、夜は星明かりだけの暗闇。水を汲み上げるポンプもなく、何時間もかけて水を運ぶのが子ども達の仕事でした。

2002年、この国は大干ばつに見舞われました。国中から食糧がなくなり、飢えと病気で多くの人がなくなりました。少年は通っていた中学校もやめなければなりませんでしたが、しかし少年は、働きながら図書室で本を借りて学び続けました。そして運命的な本と出会います。「風力発電」についての本です。

「自分で風力発電の仕組みをつくって家に電気を通そう」、
そう決意した少年はゴミ捨て場から廃材を探しました。
塩化ビニルのパイプを加工して羽根を作りました。道具もないので、ハンダごてやドリルも自分で作らなければなりません。仕事でかせいだお金で自転車の発電機を買いました。
新しい風力発電の仕組みも一人で学びました。苦労して三ヶ月



少年が作った発電風車

で高さ五メートルの発電用風車を完成させました。それから七年間で五台の風車を村に設置し、人々は電気のある暮らしができるようになりました。多くの支援者も現れ、念願の学校にもどるとともに、2013年には「世界を変えた30人」に選ばれました。

何のために学ぶのか

私はこの実話から「学ぶことの意味」を考えさせられました。

ひと昔前の日本なら「貧しさから抜け出すため」「家族を幸せにするため」「立身出世のため」など学ぶ意味は明快でした。今のみなさんにとって学ぶことの意味は何でしょう？

テストでよい点を取るため？社会に出て困らないように？将来の夢につなげるため？

どれもまちがいではありません。

でもアフリカの少年が学び、実際に取った行動には切実な意味がありました。

「暗闇と貧しさから抜け出たい。家族を幸せにしたい。」その思いが少年を図書館に、ゴミ捨て場に駆り立てました。私は少年の姿から学ぶことの二つの意味を見いだすことができました。

学びは「自分の人生に喜びを発見し自力で人生を切り拓くため」のものです。そして学びは「周りの人の人生に喜びをもたらすこと」にも役立ちます。皆さんの中には将来、世界に羽ばたいて活躍する人がいるかもしれません。この地に残り、ふるさと中和を守り育てていく人もいるかもしれません。どのような人生を歩んでも、自分の力を発揮し、自分で自分を輝かせること、そしてそれが周りの誰かを、あるいは世界の誰かを幸せにすること、そのような人生にこれからの学びをつなげていってほしいと思います。

その大切なステップになるのが4月から始まる中学校での生活です。

皆さんの中学校での新しい出会いが、そして三年間の豊かな学びが、実り多いものになることを心から願います。

大きな希望を胸に、中学校でも元気いっぱいご活躍ください。いつまでもお元気で。

校長 藤野 直樹

参考 『風をつかまえた少年』（ウィリアム・カムクワンバ ブライアン・ミラー 田口俊樹 訳） 文春文庫 2014年

旅立ちの春 ～最後までなかよく過ごした6年生。中和小での最終章をプレイバック！～



縄跳び大会で見た抜群のチームワーク



卒業記念キーホルダーづくり



5年生とのお別れドッジボール大会



最後の給食。牛乳で乾杯をしました。



3月2日、お別れのあいさつをしました



教室を黒板アートで飾る鈴木らなさん

末筆になりますが、本日のお子様のご卒業、おめでとうございます。お子様のこれからの人生に幸多かれと心より祈念いたします。

皆様から賜りました本校へのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。